

令和2年度事業報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

公益財団法人永井科学技術財団の令和2年度(令和2年4月1日～令和3年3月31日)期間における理事長の業務執行および事業内容について、以下のとおりご報告いたします。

1. 「令和元年度事業報告・決算報告」に関する事項

理事長は、令和元年度(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)の事業報告、収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書・同内訳表、財務諸表に対する注記および令和2年3月31日現在財産目録の各案を作成し、令和2年4月22日に監事の監査・承認を受け、同日付で監査報告書を受領した。

なお、本内容は5月の理事会および6月の評議員会に付議された。

2. 「理事会」に関する事項

理事長は、令和2年5月8日付にて各理事に対し、下記の第1号から第3号の決議事項を提案し、令和2年5月15日までに理事全員から原案に対する同意書が提出されたため、提案全議案は原案どおり承認可決された。なお、理事長は同日付で理事会議事録を作成した。

決議事項

第1号議案 令和元年度(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)事業報告案の承認

第2号議案 令和元年度(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書および同内訳表、財務諸表に対する注記ならびに令和2年3月31日現在財産目録案の承認

第3号議案 顧問5名選任承認

顧問に松田仁樹、寺島一彦、木下隆利、恒川好樹、加鳥裕明の5氏の選任

第4号議案 定時評議員会の招集

令和2年5月19日付にて、各評議員に対し、次の報告および議案を提案し、令和2年6月4日までに評議員全員から原案に対する同意書を提出していただけるように提案した。

報告事項 令和元年度(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)事業報告

議案事項 (1) 令和元年度(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書および令和2年3月31日現在財産目録案の承認

(2) 令和2・3年度理事・監事選任の件

(3) 令和2・3・4・5年度評議員選任の件

3. 「定時評議員会」に関する事項

理事長は、令和2年5月15日の理事会決議事項の承認をもって同5月19日付にて定時評議員会を招集した。これにより、令和2年6月4日に定時評議員会が書面決議にて開催され、評議員(15名)全員のもと下記報告事項および第1、2、3号の決議事項について審議された。結果、提出された報告事項および各決議事項は原案どおり承認可決され、同日付で定時評議員会議事録を作成した。

決議事項

報告事項 令和元年度(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)事業報告

決議事項

第1号議案 令和元年度(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書および令和2年3月31日現在財産目録案の承認

第2号議案 令和2・3年度理事・監事選任の件

本件は、理事に永井 淳、松井信行、岡谷篤一、小栗宏次、河本邦仁、鈴木茂樹、長谷川博和、浅井紀子、竹中裕紀の9氏が再任され、永井兼氏が新任として承認された。監事には高岡次郎、中村 弘の再任が承認され、それぞれ就任

第3号議案 令和2・3・4・5年度評議員選任の件

本件は評議員に厨川常元、多賀康訓、山内康仁、川合悦蔵、淡野正信、石黒恭生、榎 学、川合眞紀、高田雅介、伊澤守康の10氏が再任され、江龍 修、岡根利光、角田範義、斎藤公明、水谷法美の5氏が新任として承認され就任

4. 「代表理事(理事長)選定理事会」に関する事項

理事長は、令和2年6月4日の定時評議員会第3号議案で令和2・3年度の理事が選任されたことにより、同日、代表理事(理事長)の選定について各理事に提案し、各理事および監事は全員異議なく永井 淳氏を代表理事(理事長)に選定する同意を得たため、永井 淳氏は同日付で代表理事(理事長)に就任した。よって、理事長は同日付で理事会議事録を作成した。

議 案 代表理事(理事長)選定

5. 「役員・代表理事変更登記」に関する事項

令和2年6月4日付で、定時評議員会および理事会各決議に基づく当財団理事10氏、監事2氏および評議員15氏の就任および代表理事(理事長)の就任登記を令和2年6月25日に完了した。併せて、当財団ウェブサイトを更新掲載した。

また、7月10日付けで、竹中 裕紀氏が一身上の都合により理事の辞任届出書が提出されたため、7月16日付で受理、辞任登記を完了した。

6. 令和2年度上期「国際交流助成金」「大学院生海外研修助成金」、「科学技術育成教育助成金」および「海外留学生支援助成金」に関する事項

本件の国際交流助成金、大学院生海外研修助成金および科学技術育成教育助成金については、令和2年4月1日～同年5月7日まで、当財団ウェブサイトにおいて公募を行い、以下の応募申請を受け付けた。

- 1) 大学院生海外研修助成金・・・ 4件
- 2) 科学技術育成教育助成金・・・ 4件

また、海外留学生支援助成金については、令和2年5月19日～同年6月26日まで、素形材関連分野および素形材融合分野に関連する研究を専攻する学科がある大学の大学院生に対して、推薦機関長である学長または研究科長に公募を行い、名古屋大学をはじめ6大学より128名の応募申請を受け付けた。

7. 「選考委員会による助成審査および審議結果」に関する事項

本件については、前項における令和2年度上期の大学院生海外研修助成金および科学技術育成教育助成金応募申請8件について、令和2年5月28日に選考委員会を書面決議提案にて開催し、各選考委員の審議・審査の結果に基づき、以下の8件が採択され、理事会に付議することで決定された。

① 令和2年度上期大学院生海外研修助成金

本件は、豊橋技術科学大学 笹竹 晴萌氏(第7回 CoDIT '20 国際会議にて研究発表)はじめ申請4件を採択

② 令和2年度上期科学技術育成教育助成金

本件は、ものづくり企業のための女性技術者リーダー養成塾(名古屋工業大学ダイバーシティ推進センター)はじめ申請4件を採択

なお、同日付で、選考委員長より審議結果書の提出とともに選考委員会議事録が作成された。

8. 「助成金交付決定理事会」に関する事項

理事長は、前項の選考委員会の決定を受けて、令和2年6月2日付にて各理事に対し、下記の報告事項および決議事項を提案し、令和2年6月9日までに理事全員から原案に対する同意書が提出されたため、提案議案は原案どおり承認可決された。なお、理事長は同日付で理事会議事録を作成した。

報告事項 令和2年度上期 大学院生海外研修助成金、科学技術育成教育助成金
および海外留学生支援助成金の交付選考

議案 令和2年度上期 大学院生海外研修助成金、科学技術育成教育助成金
および海外留学生支援助成金の交付承認

助成金額については、以下の総額225万円と決定した。

- 1) 大学院生海外研修助成金は、豊橋技術科学大学 笹竹 晴萌氏はじめ4名に対し計55万円の助成
- 2) 科学技術育成教育助成金は、ものづくり企業のための女性技術者リーダー養成塾（名古屋工業大学ダイバーシティ推進センター）はじめ4件に対し計170万円の助成
- 3) 海外留学生支援助成金は、名古屋大学工学研究科が60名はじめ104名に対し、1名あたり5万円を計520万円の助成

9. 「令和2年度上期各助成金交付」に関する事項

本件については、令和2年6月9日の理事会決議に基づき、令和2年度上期大学院生海外研修助成金(4名)、科学技術育成教育助成金(4名)および海外留学生支援助成金(104名)の各助成先に対し、助成金交付決定通知を行うとともに、助成金交付申込書の提出を求め、その申請に基づき渡航日または開催日の1ヵ月前までとして助成金を交付した。海外留学生支援助成金については7月2日までに全員の交付を完了した。なお、当上期以降に発生するものについては、下期での交付となる。

10. 「理事会」に関する事項

理事長は、令和2年9月9日付にて理事会を招集した。これにより、令和2年10月19日に理事会が開催され、理事(6名)出席のもと、下記報告事項および第1号の決議事項についてWEB会議にて審議された。結果、提出された報告事項および各決議事項は原案どおり承認可決され、同日付で理事会議事録を作成した。

決議事項

報告事項 令和2年度上期の事業報告および収支状況報告の件

決議事項

第1号議案 令和2年度下期 企業家支援助成金交付承認の件

11. 受賞者交歓会の開催に関する事項

理事長は、当財団事業の一つである「令和元年度受賞者講演・交歓会」について令和元年10月19日に名古屋市内の「ホテル ルブラ王山」で開催することを、8月28日に決定し、9月4日付にて前年度までの受賞者他関係各位へ案内した。

なお、講演会の講演者および演題は以下のとおりである。

- 1) 受賞者講演：澤田 和明 氏
(国立大学法人豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 教授)
演題：「半導体センサ技術による化学物質イメージングシステムの開発」
- 2) 特別講演：淡野 正信 氏
(国立研究開発法人産業技術総合研究所 中部センター 所長)
演題：「未来モビリティ材料開発について」

1 2. 令和2年度財団賞・研究奨励金・共同研究奨励金・素形材融合分野奨励金および同年度下期大学院生海外研修助成金・科学技術育成教育助成金に関する事項

本件については、令和2年9月11日～同年11月13日までの2ヵ月間、当財団ウェブサイトにおいて公募を行い、合計48件の応募申請を受け付けた。

- 1) 財団賞の申請・・・・・・・・・・24件
- 2) 研究奨励金の申請・・・・・・・・9件
- 3) 共同研究奨励金の申請・・・・・・1件
- 4) 素形材融合分野奨励金の申請・・・・4件
- 5) 特定課題研究奨励金の申請・・・・2件
- 6) 国際交流助成金の申請・・・・・・1件
- 7) 大学院生海外研修助成金の申請・・・・6件
- 8) 科学技術育成教育助成金の申請・・・・1件

1 3. 「選考委員会(令和2年度財団賞・研究奨励金・共同研究奨励金・素形材融合分野奨励金・特定課題研究奨励金の贈呈および同年度下期大学院生海外研修助成金および科学技術育成教育助成金の交付)」に関する事項

本件については、前項における令和2年度財団賞(学術賞・技術賞・奨励賞)・研究奨励金・共同研究奨励金・素形材融合分野奨励金・特定課題研究奨励金および同年度下期国際交流助成金、大学院生海外研修助成金、科学技術育成教育助成金の応募申請48件につき選考委員全員の査読審査を経た後、令和3年1月22日に選考委員会を開催した。各選考委員による選考委員会の審議・審査の結果、以下の33件が採択され、理事会に付議することで決定された。

① 令和2年度財団賞候補

本件は、財団賞申請24件のうち、学術賞に産業技術総合研究所の千野 靖正はじめ6件、技術賞にニューアロイ株式会社の岩田 透はじめ2件、奨励賞に名古屋大学の黒川 康良はじめ4件の計12件を採択

② 令和2年度研究奨励金・共同研究奨励金・素形材融合分野奨励金および特定課題研究奨励金候補

本件は、研究奨励金に名古屋大学の小川 登志男はじめ8件、共同研究奨励金に産業技術総合研究所の三村 憲一他1名グループの1件、素形材融合分野奨励金に名古屋大学の糸井 弘行はじめ3件、特定課題研究奨励金に名古屋工業大学の関 健太はじめ2件の計14件を採択

③ 令和2年度下期国際交流助成金、大学院生海外研修助成金および科学技術育成教育助成金候補

本件は、国際交流助成金は応募規定対象外となり採択者なし。大学院生海外研修助成金に名古屋工業大学のGAO YANGはじめ6件、科学技術育成教育助成金に豊田工業高等専門学校的女子中学生のためのモノづくり講座の1件が申請通

り計7件を採択

なお、同日付で、選考委員長より審議・審査結果書の提出とともに選考委員会議事録が作成された。

14. 「理事会(令和2年度財団賞等贈呈、同年度下期助成金交付決定)」に関する事項

前記の選考委員会による令和2年度財団賞・研究奨励金・共同研究奨励金・素形材融合分野奨励金・特定課題研究奨励金の贈呈および同年度下期大学院生海外研修助成金、科学技術育成教育助成金交付の採択結果に基づき、定款第39条第2項および第3項に則り、令和3年1月28日付にて各理事に対し選考委員会審議結果の報告とともに本件の決定についての議案を提案、理事全員から原案に対する同意書が提出されたため、添付資料に記載の贈呈者・交付者に助成することを令和3年2月5日付で承認可決した。

なお、贈呈・交付金額については、財団賞の学術賞に1件あたり金70万円を6件、技術賞に1件あたり金50万円を2件、奨励賞に1件あたり金30万円を4件、研究奨励金に1件あたり金30万円を8件、共同研究奨励金に1件あたり金70万円を1件、素形材融合分野奨励金に1件あたり金50万円を3件、特定課題研究奨励金に1件あたり金50万円を2件の計26件に対し総額1,200万円の贈呈、また、大学院生海外研修助成金は欧州・米国圏は1件あたり金15万円を計6件、科学技術育成教育助成金は金30万円を1件の交付として、それぞれ決定した。なお、理事長は同日付で理事会議事録を作成した。

15. 令和2年度下期大学院生海外研修助成金・科学技術育成教育助成金の交付に関する事項

本件については、令和3年2月5日の理事会決議に基づき、令和2年度下期大学院生海外研修助成金(6件)および科学技術育成教育助成金(1件)の各助成金交付者に対し「助成金交付決定通知」を行うとともに「助成金交付申請書」の提出を求め、その申請に基づき各交付者の渡航日の1ヵ月前までに助成金を交付することとした。

なお、助成金交付者6件は令和3年度の交付予定となる。

16. 令和2年度助成事業の実績等に関する事項

当年度事業における財団賞・奨励金・助成金については、助成計画21,000千円(52件/うち予備3,000千円)に対し、総額20,700千円(41件/予備費は海外留学生支援助成金に補てん)の助成実績となった。

17. 令和2年度財団賞・研究奨励金・共同研究奨励金贈呈式・素形材融合分野奨励金・特定課題研究奨励金に関する事項

本件については、令和3年2月5日の理事会決議に基づき、令和2年度財団賞(学

術賞・技術賞・奨励賞)受賞者および研究奨励金・共同研究奨励金・素形材融合分野奨励金・特定課題研究奨励金の贈呈者に対し、令和3年2月5日に各贈呈決定通知を発送するとともに、令和3年3月16日にホテルオークラレストランにおいて各受賞者・奨励者が出席のもとで滞りなく執り行われた。

18. 「理事会」に関する事項

本件は、平成31年3月16日にホテルオークラレストランにおいて、下記事項についての報告し、決議事項については原案どおり承認可決された。

報告事項

1. 令和2年度事業報告の件
2. 令和2年度収支決算見込み報告の件

決議事項

- | | |
|-------|---------------------|
| 第1号議案 | 令和3年度事業計画案承認の件 |
| 第2号議案 | 令和3年度収支予算案承認の件 |
| 第3号議案 | 令和2年度余剰金を基本財産へ繰入れる件 |

以 上